

資料「子どもが開きたくなるキャリア・パスポートにするために」について

山口県教育庁義務教育課

キャリア・パスポートは、子どもたちが自分の生き方を考えていくためのアイテムであり、その活用を促すことが「やまぐち PRIDE」の醸成にもつながります。

この度、具体的なポイントをまとめた資料を作成しましたので、各学校の実態に応じて参考にしてください。

～先生方にお伝えしたいこと～

「学校・地域連携カリキュラム」の更新・改善の中で、「やまぐち PRIDE」の醸成の視点から、地域の方の思いや願いにふれる機会の充実に向けた見直しが進んでいますか。

そうした学習活動を展開していく中で、地域の方の思いや願いが子どもに届き、全ての子どもたちに「やまぐち PRIDE」が醸成されるために効果的な取組がキャリア・パスポートの活用です。

具体的には、特別活動や総合的な学習の時間を中心に、子どもたちが地域の方から学んだことを新たな学習や生活への意欲、将来の生き方につなげたり振り返ったりした記録を蓄積していくことで、将来、進学や就職等の進路を考えるとときに自ら開きたくなるものにしていけます。

また、子どもたちがキャリア・パスポートに記録する際には、周りの大人が、子どもたちの良さや可能性を積極的に認めるような肯定的な対話を行うことで、これまでの学びを価値付けることが大切です。

キャリア・パスポートは、子どもたちが作るものであり、校種を越えて持ち上がるのは子どもたちです。一人ひとりが「開きたい」と思えるものになるよう御支援をお願いします。

【参考資料】

事務連絡「キャリア・パスポート」例示資料等について

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/08/21/1419890_001.pdf



「キャリア・パスポート」の様式例と指導上の留意事項

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/08/21/1419890_002.pdf

